

令和6年度第2回日進市総合戦略推進委員会 議事要旨

日 時	令和6年3月6日(木) 午前10時から午前11時まで
場 所	日進市役所4階 第2会議室
出 席 者	鵜飼宏成、志水佳三、柴田幸美智、加藤理一、久田孝志、山口瑠美子、小金澤衣里(敬称略)
欠 席 者	亀倉正彦、高木伸治、三隅晋吾
事 務 局	石川雅之(総合政策部長)、杉田武史(同部調整監)、鬼頭聡(同部次長兼企画政策課長)、西口和宏(同課課長補佐兼市政戦略係長)、窪田健一(同課同係主査)
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有(1名) ※Zoomによる傍聴
次 第	1 開会 2 議題 地域幸福度(Well-Being)指標について 3 閉会

配付資料

資料 地域幸福度(Well-Being)指標について

参考資料 市民の幸福感を高めるまちづくりの指標

	1 開会
	2 議題
委 員 長	議題 地域幸福度(Well-Being)指標について事務局から説明をお願いします。
説 明 者	(資料に基づき、事務局から説明) まず欠席されている委員からいただいたご意見を紹介します。ご意見は3件ございます。 1. 日進市は、既に総合計画と人口ビジョン、まちひとしごと創生総合戦略などを持っています。これに沿った評価のあり方を検討するのが望ましい。 2. 資源には限りがあるので、人口減少社会において焦点を絞り、3、4年程度の中期で移行していくような地域作りのキーワードを定めることが重要。 3. 多くのコンサルティングや調査会社がビジネスにしていますが、流行に陥ると資源を浪費します。慎重に判断することが求められます。
委 員 長	では、地域幸福度の考え方について、理解を深めつつ、日進市としてどう点検指標として活用すべきか。皆様のご意見をお聞かせください。今日は結論を出す会ではないので、自由に議論しましょう。
委 員	ウェルビーイング指標が提案された理由をお聞きしたいです。
事 務 局	これまで総合戦略にある KPI の点検や、見直しについてご意見をください。

	<p>てきました。</p> <p>ただ、世の中の流利的にも今後の各種計画におきまして、指標のあり方について変化が起きている状況でございます。今後、ウェルビーイング指標が指標の一つになっていくものと考えております。次期総合計画、総合戦略の策定に向け指標のあり方について、準備をしたいという思いで今回提案をさせていただきます。</p>
委員	<p>市民意識調査結果をもとに実態に即した指標を設定し、それをういた方が良いと思います。</p>
事務局	<p>市民意識調査は、2年に1回実施しており、どちらかという市民の方の主観的な要素が大きいかなと思っています。ウェルビーイング指標は、主観的な指標も考慮しながら、客観的統計的なデータをもとに指標を考えていくという要素も含まれております。市民意識調査のような主観的な指標も取り入れながら、客観的な要素も取り入れていければ良いのではないかと考えます。</p>
委員長	<p>今回の会議では、ウェルビーイング指標についての理解を深め、どう活用するかを議論します。行政目標と KPI の違いを明確にし、具体的な施策に結びつけることが重要です。</p>
委員	<p>ウェルビーイング指標を用いることで、総合戦略全体を補完するのか、一部をカバーするのか教えてください。</p>
事務局	<p>ウェルビーイング指標は、広範囲な評価指標として活用できるものです。総合戦略の中でも KPI や目標値に取り入れていくことが可能であると考えます。ただ、どのように表現していくことが、皆様にとって分かりやすい計画になるのかについて、皆様のご意見を参考にしながら今後検討していければと考えます。</p>
委員	<p>経年で評価することで指標の良し悪しが分かり、次の施策が決めやすくなります。同様の手法を弊社でも実施しています。これは、あくまで多分指標だと思いますので、この指標を使った時にどういった施策が出てくるのかが一番重要なのかなと思います。</p>
委員	<p>ウェルビーイング指標を拝見させていただいたところ、客観的指標で自己効力感が投票の数だけというのが、なぜここから取ったのかというところが少し指標として疑問があります。指標をそのまま鵜呑みにしてしまうのは、危険な項目が多いと感じています。この中の一部を取って、上手に客観的なところを増やしていくのには良いかと考えます。</p>
委員長	<p>ウェルビーイング指標の主観・客観の共通部分をどう考えるかが重要です。多くの情報を集め、議論を深めましょう。</p>
委員	<p>ウェルビーイング指標として採用するデータの妥当性に疑問があります。慎重に考えたほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>市民意識調査や他のデータも参考にし、指標設定を検討していきます。</p>
委員長	<p>主観指標については、自治体が独自で継続的に調査する必要も出てくると</p>

	<p>思います。日進市が、まちづくりを行う上で何をターゲットとして考えていくかを押さえ、より効果的な情報収集をしていくことも検討する必要があります。</p>
委 員	<p>この調査は、どのような方法で行われたものなのでしょうか。ウェルビーイング指標は、なかなか耳馴染みがなく、資料をいただいたときは、よく解りませんでした。資料 8 ページの研究論文の紹介を確認し、理解することができました。このような手法を使っていくことは良いと思いました。</p>
事 務 局	<p>まずアンケートの手法につきましては、インターネットでの Web アンケートです。回答数につきましては把握しておりません。</p>
委 員	<p>この地域幸福度の議論っていうのは、総合戦略の委員会の中では、今後どういう位置づけになってくるのですか。</p>
事 務 局	<p>ウェルビーイング指標は、国が推奨しておりますので、何とか行政で生かすことができないかと考えます。生かし方につきまして、行政だけではなく、当委員会に諮りご意見をいただきながら、今後どう活用していくかについて、検討していきたいと考えます。現時点での方向性については、まだ漠然としているような状況でございます。</p>
委 員 長	<p>解りました。委員が指摘された論文についてお話ししますと、地域活動など地域の関与はどの指標でも幸福度を高めており、ソーシャルキャピタルの豊かな地域で幸福度が高いという先行研究と整合的でございます。さらに地域交流に関する政策が、地域活動や地域愛着を高め、それが幸福度を高めるということに繋がっている様は、因果関係に近いようなことが研究成果として表れております。</p> <p>幸福度という側面を見た場合に、日進市の状態を把握するだけではなく、これを高めるために、既存の施策の中で何をどう動かしていくと、結果的に地域幸福度が変化するということがある程度、体系的に議論できれば、活用しやすいものになってくるのではないかと思います。</p> <p>もし保井先生に声をかけてレクチャーを受けるということであれば、声かけをさせていただくことができると思います。学術的にも大変優れた成果を上げておられ、自ら広島の中でウェルビーイングを上げるために様々なことに取り組みされているので、そういう実践も含めて色々と教えていただけないかと思えます。</p>
委 員	<p>スマートシティースティチュートの南雲とは関係があるため、勉強会等を開催することは可能かと思いました。</p>
委 員	<p>このウェルビーイング指標のアンケート調査は、これからも継続してデジタル庁としては行っていく予定があるのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>今後も調査は実施し、経過を追っていくものと考えております。</p>
委 員	<p>日進市の市民意識調査と今回の回答の傾向に、何か大きな違いがあったのでしょうか。</p>

事務局	それほど乖離しているものではないかと思っています。
委員	先ほど総合戦略とこのウェルビーイング指標の位置づけについてというお話もございましたが、やはり総合戦略ありきであって、ウェルビーイング指標は全国の各自治体がこれから多分重視していきだろーと思っておりますので、やはり無視するわけにもいかないと思います。こういった情報を参考にしながら、日進市として総合戦略を立てるといふ形にしていただければと思っています。
事務局	皆様方から、ご意見をいただきまして市としてもウェルビーイング指標をどう活用していくかについて、もう少し深く研究した上で、当委員会に諮るか、また有識者による研修も含め検討できればと思います。その際にはご協力のほどよろしくお願ひします。
委員長	この地域幸福度という言葉に関わらず、ウェルビーイングは一般化している言葉になってきています。 経済成長がままならない中において、幸福度をどう考えるかが今焦点になっているのだろーと思ひます。 もし有識者の方々をお呼びになるのであれば、市民の方々に向けた公開講座のような企画でやられる方がいいのではないのでしょうか。総合戦略にのせるかどうかではなく、市民の知識を高めてもらった上でないと単なる思いつきで回答されるかもしれません。その意味で全体での知識の底上げができるような取組を行うこともこの総合戦略の中で、重要な活動の一つかも知れません。一度ご検討いただければと思います。
委員	市民参加型の調査や会議を増やし、日進市への愛着を高める取組も必要だと考えます。
委員長	先行研究だとソーシャルキャピタルが非常に重要だと書いてあるので、それはまさに色々なところで出会っていく機会がどれだけ多いかというところですので、単に各部署のイベントを行うだけではなくて、それを繋げていけるような思想で動かしていくのも、行政の責任の一つかも知れません。ぜひご検討いただければと思います。
委員長	それでは、進行を事務局の方にお返しいたします。
事務局	それでは以上をもちまして、令和6年度第2回総合戦略推進委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。
	3 閉会